



## 2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月12日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東  
 コード番号 6785 URL http://www.suzukinet.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 横山 勝登 TEL 026-251-2600  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第2四半期の連結業績 (2018年7月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	13,757	△0.8	1,035	△24.8	978	△31.5	483	△43.9
2018年6月期第2四半期	13,865	21.0	1,376	65.4	1,429	126.1	861	192.3

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 239百万円 (△79.7%) 2018年6月期第2四半期 1,177百万円 (108.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	33.62	-
2018年6月期第2四半期	69.56	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	23,548	15,934	66.6
2018年6月期	23,760	16,075	66.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 15,676百万円 2018年6月期 15,729百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	-	0.00	-	13.00	13.00
2019年6月期	-	0.00	-	-	-
2019年6月期 (予想)	-	-	-	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想 (2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,507	5.2	2,024	△7.7	1,953	△11.5	1,082	△8.0	72.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期2Q	14,390,000株	2018年6月期	14,390,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期2Q	4,457株	2018年6月期	4,413株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期2Q	14,385,554株	2018年6月期2Q	12,385,632株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善及び堅調な設備投資によって緩やかな回復基調が続きました。世界経済は緩やかに拡大したものの、米国と中国における貿易摩擦による影響が実体経済に及び始め、またユーロ圏やアジア経済は拡大ペースが鈍化しており、先行き不透明感が強まっています。

当社グループにおいては、部品セグメントでは、主力のスマートフォン関連部品の需要が伸びず低調に推移しましたが、自動車電装部品は堅調でした。また、機械器具セグメントは、自動車関連装置や医療関連装置が堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、更なる生産効率の向上、および高精度の品質維持を実現するために積極的な改善活動を推し進めてきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高137億5千7百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は10億3千5百万円（前年同期比24.8%減）、経常利益は9億7千8百万円（前年同期比31.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億8千3百万円（前年同期比43.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①金型

電子機器向け金型、自動車電装向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け金型は、スマートフォン部品用や車載部品用金型の販売が活発で、自動車電装向け金型も堅調でした。しかし、第1四半期連結累計期間で新規製品の生産コスト増加により利益率が低下したことで、インドネシア子会社において自動車関連の受注が伸びなかったことで利益を圧迫しました。

その結果、売上高は8億2千9百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は7千2百万円（前年同期比58%減）となりました。

## ②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器向け部品はスマートフォン関連部品の新機種向け需要が伸びず低調に推移したことで計画を下回りました。一方、自動車電装向け部品は堅調に推移しました。

その結果、売上高は105億3千8百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は11億8千5百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

## ③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。各種自動機器は自動車関連装置や半導体関連装置は堅調に推移し、医療器具も市場の高い需要を背景に計画を上回る受注となりました。

その結果、売上高は23億8千3百万円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は3億1千8百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

## ④その他

賃貸事業、売電事業を行っております。

売上高は5百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は2千2百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①連結財政状態

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、流動資産は109億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5千2百万円減少しました。これは主に現金及び預金が8億1千4百万円、仕掛品が6千1百万円減少したことによるものであります。固定資産は126億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億4千万円増加しました。これは主に有形固定資産が7億9千4百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

流動負債は55億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千1百万円増加しました。これは主に短期借入金が増加しましたが、未払法人税等が1億1千1百万円、1年内返済予定の長期借入金が増加したことで1億1百万円減少したことによるものであります。固定負債は20億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6千2百万円減少しました。これは主に長期借入金が増加したことで1億7千7百万円減少したことによるものであります。

## （純資産）

純資産合計は159億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4千1百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金が3億1千1百万円減少しましたが、利益剰余金が2億9千6百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.6%（前連結会計年度末は66.2%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ8億1千4百万円減少し、21億8千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、11億2千8百万円（前年同期比0.8%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9億8千万円、減価償却費7億1千9百万円と資金が増加しましたが、法人税等の支払額5億1千5百万円、棚卸資産の増加による資金の減少7千6百万円と資金が減少したことによるものであります。。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、15億5百万円（前年同期比15.4%増）となりました。これは主に、医療器具事業および部品事業の生産設備増設等の有形固定資産の取得による支出14億4千8百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5億2千5百万円となりました。これは主に、短期借入金が1億3千4百万円増加しましたが、非支配株主への配当金の支払額2億1千9百万円、長期借入金の返済による支出2億7千8百万円、配当金の支払額1億8千6百万円と資金が減少したことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月10日に公表しました連結業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,284,007	2,469,347
受取手形及び売掛金	5,443,307	5,422,633
商品及び製品	272,909	327,270
仕掛品	1,245,700	1,184,356
原材料及び貯蔵品	1,129,442	1,201,353
その他	300,680	318,917
流動資産合計	11,676,048	10,923,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,990,681	5,040,034
機械装置及び運搬具（純額）	3,601,642	3,660,862
土地	1,423,475	1,418,196
その他（純額）	1,100,973	792,547
有形固定資産合計	10,116,774	10,911,640
無形固定資産	84,195	106,912
投資その他の資産		
投資有価証券	1,647,687	1,222,372
その他	236,679	384,660
貸倒引当金	△1,136	△1,136
投資その他の資産合計	1,883,230	1,605,896
固定資産合計	12,084,200	12,624,450
資産合計	23,760,249	23,548,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,402,812	2,412,535
短期借入金	1,245,325	1,449,908
1年内返済予定の長期借入金	480,854	379,032
未払法人税等	556,809	445,278
賞与引当金	102,519	113,483
役員賞与引当金	27,900	14,100
その他	610,750	704,088
流動負債合計	5,426,969	5,518,425
固定負債		
長期借入金	927,934	750,838
長期未払金	442,531	428,147
退職給付に係る負債	887,100	916,467
固定負債合計	2,257,565	2,095,452
負債合計	7,684,535	7,613,877
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,437,470	2,437,470
資本剰余金	2,256,578	2,248,512
利益剰余金	10,292,196	10,588,860
自己株式	△1,185	△1,226
株主資本合計	14,985,059	15,273,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729,254	417,318
為替換算調整勘定	72,890	40,065
退職給付に係る調整累計額	△57,641	△54,947
その他の包括利益累計額合計	744,503	402,437
非支配株主持分	346,151	258,399
純資産合計	16,075,714	15,934,452
負債純資産合計	23,760,249	23,548,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	13,865,430	13,757,536
売上原価	11,582,242	11,708,461
売上総利益	2,283,187	2,049,074
販売費及び一般管理費	906,314	1,013,350
営業利益	1,376,873	1,035,723
営業外収益		
受取利息	1,884	5,566
受取配当金	23,286	23,801
受取賃貸料	3,408	3,535
為替差益	33,440	—
スクラップ売却益	5,227	3,069
その他	3,552	13,035
営業外収益合計	70,799	49,008
営業外費用		
支払利息	15,712	17,788
為替差損	—	84,312
支払補償費	2,320	—
その他	56	4,050
営業外費用合計	18,089	106,151
経常利益	1,429,583	978,580
特別利益		
固定資産売却益	8,520	2,388
投資有価証券売却益	0	1,795
特別利益合計	8,520	4,183
特別損失		
固定資産売却損	11,223	1,636
固定資産除却損	1,373	659
特別損失合計	12,596	2,296
税金等調整前四半期純利益	1,425,507	980,468
法人税、住民税及び事業税	462,067	406,341
法人税等調整額	△3,405	△11,369
法人税等合計	458,662	394,971
四半期純利益	966,845	585,497
非支配株主に帰属する四半期純利益	105,264	101,820
親会社株主に帰属する四半期純利益	861,581	483,676



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年7月1日 至 2017年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2018年12月31日）
四半期純利益	966,845	585,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238,838	△311,935
為替換算調整勘定	△30,472	△36,891
退職給付に係る調整額	2,010	2,689
その他の包括利益合計	210,376	△346,137
四半期包括利益	1,177,222	239,359
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,092,315	141,610
非支配株主に係る四半期包括利益	84,906	97,749

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,425,507	980,468
減価償却費	716,169	719,189
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,220	11,036
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,800	△13,800
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,132	33,857
受取利息及び受取配当金	△25,171	△29,367
支払利息	15,712	17,788
有形固定資産売却損益(△は益)	2,703	△751
有形固定資産除却損	1,373	659
売上債権の増減額(△は増加)	△460,338	27,509
たな卸資産の増減額(△は増加)	△516,847	△76,181
仕入債務の増減額(△は減少)	348,293	7,097
その他	△79,376	△46,936
小計	1,443,578	1,630,568
利息及び配当金の受取額	26,035	30,101
利息の支払額	△11,199	△16,181
法人税等の支払額	△320,889	△515,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,137,525	1,128,939
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,291,167	△1,448,629
有形固定資産の売却による収入	26,146	4,198
投資有価証券の取得による支出	△23,181	△25,522
その他	△16,256	△35,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,304,459	△1,505,157
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,755	134,159
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△218,190	△278,918
配当金の支払額	△135,742	△186,845
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△13,736
非支配株主からの払込みによる収入	—	39,200
自己株式の取得による支出	—	△40
非支配株主への配当金の支払額	△230,300	△219,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	395,012	△525,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58,041	86,757
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	170,036	△814,672
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,026	2,996,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,461,063	2,181,433

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年7月1日 至 2017年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	788,092	10,933,219	2,138,806	13,860,118	5,312	13,865,430	—	13,865,430
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	269,124	△255,382	181,002	194,744	36,600	231,344	△231,344	—
計	1,057,217	10,677,836	2,319,809	14,054,863	41,912	14,096,775	△231,344	13,865,430
セグメント利益	173,249	1,437,032	262,953	1,873,236	20,985	1,894,222	△517,348	1,376,873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△517,348千円には、セグメント間取引消去△4,298千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△510,698千円、棚卸資産の調整額2,038千円及びその他の影響額△4,390千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2018年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	829,570	10,538,796	2,383,745	13,752,112	5,424	13,757,536	—	13,757,536
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	304,235	△25,463	45,141	323,913	38,130	362,043	△362,043	—
計	1,133,805	10,513,333	2,428,886	14,076,025	43,554	14,119,579	△362,043	13,757,536
セグメント利益	72,776	1,185,353	318,002	1,576,132	22,789	1,598,922	△563,198	1,035,723

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△563,198千円には、セグメント間取引消去5,141千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555,897千円、棚卸資産の調整額3,781千円及びその他の影響額△16,223千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。